

令和4年度

学校関係者評価委員会 資料

令和3年度学校(自己)評価表

**愛知産業大学工業高等学校
通信制課程**

1. 愛知産業大学工業高等学校通信制課程（単位制普通科 男女共学）の教育目標

通信制課程単位制に入学してくる生徒は多様な価値観を持っている。その生徒一人ひとりに対応できる教育内容の充実を図り、生徒が個々に持っている課題に応える体制を整え、学ぶ喜びと共に、何事に対しても自信と意欲を持たせる。併せて、生徒指導を通して地域社会から信頼される教育活動をめざす。

2. 通信制課程の構成

(1) 通信制課程の構成

本校通信制課程は、学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制には、普通・電気・機械科を設置している。技能連携を結ぶことによって専門学校における学修を本校の修得単位として認定している。

単位制には、普通科を設置し、3つのコース（午前コース・午後コース・日曜コース）に分かれている。

(2) 技能連携校

名古屋工学院専門学校高等課程（普通科・電気科）

東海工業専門学校熱田校高等課程（普通科・機械科）

あいち造形デザイン専門学校高等課程（普通科）

(3) 在籍数（令和3年5月1日現在）

	普通科		電気科		機械科		小計		合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
名古屋工学院専門学校	378	56	620	10			998	66	1064
東海工業専門学校熱田校	144	13			379	5	523	18	541
あいち造形デザイン専門学校	73	167					73	167	240
単位制	173	85					173	85	258
合計	768	321	620	10	379	5	1767	336	2103

※1学年 698名 2学年 643名 3学年 762名 合計 2103名

（但し、単位制は1年次、2年次、3年次を学年として集計）

3. 重点目標の具体的な取り組みと評価及び課題等

(1) 教務（学習指導）

重点目標	主な結果
① 単位修得率の向上	○修得単位数/履修単位数=86.1% (R2年度 84.1%)
② 資格取得の向上	○取得資格等 ・高所作業者 2名
③ 教員の資質向上	○学園設置校間公開授業 中止 ○自校内参観授業 1名実施、参観者 4名。
④ 視聴覚教材の導入	○視聴覚教材を製作 ○教員用タブレットの導入・活用
⑤ 教務規定の改訂	○名称変更（コース名、試験名称） ○再試験における平常点の変更

【自己評価及び課題等】

- 授業内容、レポート内容とも基礎的な項目に重点を置いて作成した結果、単位取得率は向上している。しかし、同時に生徒の理解度が向上しているかは疑問である。今後も生徒が理解できる工夫を検討していきたい。
- 校外での資格取得であるため新型コロナ拡大防止の影響で参加者、合格者は少ない。今後は校内での資格取得特別講座を新設し希望者に受講させる予定。（危険物取扱者試験対策講座、漢字検定対策講座、C言語プログラミング資格取得対策講座等）
- 学園設置校間公開授業は新型コロナ拡大防止のため中止となり、自校内授業参観は実施した。やはり学校は授業が中心であるので少しでも生徒が理解しやすい授業にすることが必要である。そのため、来年度からは研究授業を再開し、より良い授業になるように努力していきたいと考えている。
- 授業内容をわかりやすくするためには視聴覚教材やパワーポイントを使用することがどの教科にも必要である。また、今後ICT教育を推進するために、ネット環境の整備や教室にモニターテレビを設置するなどを来年度計画する。また、先生方にもICT教育を勉強して頂き、授業の効率化を推し進める必要がある。
- 技能連携校スクーリング年間指導計画に予定している視聴覚教材を製作した。来年度はICTの利用を模索しながら導入を考えていきたい。
- 教務内規を生徒にわかりやすいように若干変更をした。今後も文部科学省の規定を守りながら、生徒の勉強意欲を高めるような教務規定に変更していきたい。

(2) 生徒指導（生活指導）

重点目標	主な結果
① 基本的な生活習慣の確立	○生徒の状況・様子を把握するため、登下校時、放課等において生徒に「声掛け」「対話」を増やすようにした。 ○「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間や日頃の生徒との対話を通じて基本的な生活習慣、社会生活のマナーの指導をした。
②校内外の事故発生の防止	○校内外における事故はなかった。
③問題行動の防止	○校内外の巡視を行った。問題行動1名（1件1名喫煙） （令和2年問題行動0件0名）
④健康診断の受診	○健康診断受診案内を配付して受診を促した。受診結果により必要に応じて治療通院を促した。
⑤スクールカウンセラーとの協力体制の強化	○希望する生徒、保護者に予約制でカウンセリングを行った。
⑥生徒作品の掲示場所の提供	○生徒が作成した絵画、ポスター等を校内に掲示し、発表の機会を増やす。

【自己評価及び課題等】

- 出校できる生徒にはできるだけ対話を増やし、生徒と教員間の相互理解を行った。また、出校が少ない生徒には電話やメール発信により、より良い関係をつくるように努力した。しかし、入学時には不登校生徒が多いので、電話が通じない生徒もいるため苦労している。
- 「産業社会と人間」、「総合的な探究」の時間に時事問題を踏まえた生活指導、学習指導、進路指導を行い、基本的な生活習慣、社会生活におけるマナーの大切さ、コミュニケーション能力の必要性を理解させることができた。しかし、レポート内容が時代の流れに合っていない部分もあるので内容を新しい時代にあったものに変更していきたい。
- 健康診断の未受診生徒には各自で受診するように指導を徹底する。
- 校内外の巡視を行ない、事故発生を未然に防ぐことができた。また、問題行動の予防と指導も継続し、特に校外の巡回指導を重視して行きたい。
- スクールカウンセラーとの協力体制は円滑に行うことができた。、来年度も継続していきたい。また少しずつ依頼も増加しているので通信制に常駐して頂くことも視野に検討していきたい。
- 本年度より生徒の作品を校内に掲示し、生徒へ発表する場を与えた。大変好評で今後も継続していきたい。

(3) 進路指導

重点目標	主な結果
① 適切な進路選択	<p>○5/22(土)進学説明会をリモート実施。参加者 95 名 (R2 年 82 名)</p> <p>○7/3(土)就職説明会を実施。参加者 63 名 (R2 年 55 名)</p> <p>○7/29(木)公共職業安定所（ハローワーク）主催のジョブ・キャンパス・エクステンションを校内で実施。 参加者 25 名 (R2 年 14 名)</p> <p>○公共職業安定所主催の模擬面接 中止 (R2 年 中止)</p> <p>○公共職業安定所主催の就職準備セミナー 中止 (R2 年 4 名)</p> <p>○就職（学校紹介）は全員内定 14 名 (R2 年 8 名)</p>
②進路決定	<p>○合格者 大学 23 名 (R1 年 18 名) (内 愛知産業大学 8 名 (R2 年 6 名)) 短大 3 名 (R2 年 1 名) 専門学校等 8 名 (R2 年 34 名) (内 ELIC 8 名 (R2 年 9 名) 名古屋美容 0 名 (R2 年 1 名) ブライダル 2 名 (R2 年 0 名))</p> <p>○進学率 51.1% (R2 年 48.2%) (R3 年) 進学者/卒業生=69 名/135 名=51.1% (R2 年) 進学者/卒業生=53 名/110 名=48.2%</p>

【自己評価及び課題等】

- 日頃の生徒や保護者との対話を通じて良好な関係を築き、就職説明会、進学説明会等において情報を提供し、希望の実現へ導く方策を常に考えていく。
- 名古屋中公共職業安定所との提携行事に参加して100%の内定を得ることができた。しかし、就職してから数ヶ月でやめてしまう生徒もいるようで、就職に対する生徒への指導も強化する必要がある。
- 進路内容を向上させるため、教員の学習指導、面接指導の経験を増やし、多様な生徒に対応するための指導力の向上に努める。
- 姉妹校への進学については学園発展のため、今後も機会あるごとに学園の魅力を生徒、保護者に伝えて姉妹校進学者を増やすように努力をする。また、来年度より総合的な探究の時間に姉妹校への体験学習を取り入れ、内部進学者増加を図る。
- 本年度より愛産大との高大連携プログラム参加し夏休み中に大学での講義を受けた。来年度はさらに参加者を増やしていきたい。
- 来年度から進学講座を開講し進学者の学力を高める。

(4) 校務

重点目標	主な結果
①施設設備の管理	○校内における生徒の事故はなかった。 ○臨時保健室設置により生徒が登校しやすくなった。
	○事務局とも連携をして、教員が校舎担当区域の美化活動を行ない施設設備の管理ができた。
②危機管理	○情報の共有化をした。

【自己評価及び課題等】

- 校内設備による問題発生防止のため、常時点検の実施と早期修繕に努めた。
- 緊急情報や防災等の知識や設備の情報を共有化し、日常的に危機管理意識を持つことができた。
- 来年度は臨時保健室を仕切りドア等を設置し安心して休める保健室にリニューアルする予定である。
- 本校は不登校の生徒が多いため、自習室の机を他の生徒から見られないような仕切りのある机に替える予定である。

(5) 総務・渉外

重点目標	主な結果
①入学相談	○随時開催の入学相談と年間9回学校説明会を実施した。 (1回中止) (R2年10回) 参加者79組中37名入学
	○入学相談者の入学率 68.1% (R1年 60.7%) (R3) 入学者数/入学相談者数=171名/251名=68.1% (R2) 入学者数/入学相談者数=125名/206名=60.7%
②広報活動	○学校案内、募集要項を中学校に配付した。 (全日制渉外担当教員に依頼)
	○在籍生徒の中学校へ訪問し近況報告 (81校) (H30年9月高校訪問実施 61校)
	○合同相談会に参加し、学校案内、募集要項、コミュを配付した。 ○合同相談会による入学者数 15名 (面談数 83組 148名) (R2年 入学者数 13名 (面談数 51組 87名))
	○単位制HPの「お知らせ」に学校の情報 (入学式、卒業式、進学説明会、試験時間割、成績発表等) を掲載した。
	○単位制HPのアクセス数を増やすため Yahoo、Google 検索広告を利用した。 単位制HP検索数 20571件 (R2年 14776件)
○本校と同種他校との学費を調べ、本校の学費が経済的であることを改めて確認した。	

【自己評価及び課題等】

- 学校説明会を毎月1回程度実施しているが、同じ説明会ではなく、その時期に応じて内容に工夫をする。来年度は12回開催予定である。(土曜日午前開催)
- 入学相談では生徒の状況を踏まえ、その生徒に応じた説明をし授業を行っている時は必ず授業見学をお願いしている。
- 昨年度より中学校訪問を実施、いままで本校の内容について知られていないため直接中学校から入学する生徒が増加した。来年度も是非実施したい。
- 合同相談会では、他校と比較した本校通信制の特徴を学校案内、募集要項を使用して説明した。併せて、コミュを配付して姉妹校進学を説明したところ好評であった。今後は出口指導の紹介をしていきたい。
- 学校HPを活用して本校単位制の魅力を広く発信する。昨年の検索件数と比較して増加している。来年度はHPを改訂して内容を充実する。
- 中学生からの入学者が増加傾向にあるので、中学校への広報を検討していきたい。

今後の展望

愛知県内に通信制高校が多くなっている中で他の通信高校にはない本校の特色を前面に出す必要がある。その一つが授業をしっかりと行っていることである。現在の通信制は不登校の生徒が多く在籍しているが、授業を受けることを望んでいないわけではない、できれば授業を受けられるようになり卒業して、次のステップ(進学等)に進みたいと望んでいる。単に卒業させるだけの通信制高校ではなく、今後は進路指導に力を入れていくことが必要と考える。そのためには単に授業だけではなく、生徒のニーズにあった講座を新設して生徒の満足度を高め進路に生かしていきたい。

来年度新設講座予定

- ・総合的な探究の時間を利用した体験学習講座(専門学校で実施)
 - 「オリジナルキャラクターデザイン」「テクニカルイラストレーション」「英語スピーキング」
 - 「テーブルマナー」「調理体験」「介護レクレーション」「建築」「プログラミング実習」等
- ・進学講座(国語、数学、英語)
- ・学び直し講座(国語、数学、英語)
- ・特別講座
 - 「危険物取扱者資格試験三種対策講座」「小論文対策講座」「公務員対策講座」「美術デッサン講座」
 - 「漢字検定講座」「C言語プログラミング能力検定対策講座」等

以上